

ビームTM

水稻用殺菌剤

STビーム粉剤DL・STビームゾル

STビームエイトゾル・ビームバリダゾル

STビームエイトトレボンゾル※

他 各種混合剤

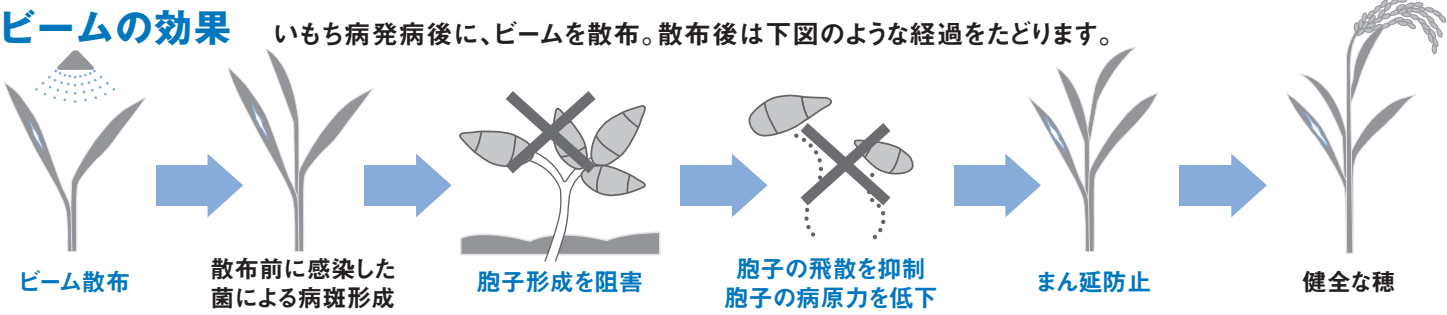
※STビームエイトトレボンゾルは、殺虫殺菌剤です。

いもち病に優れた効果。

- ・いもち病に優れた残効性・耐雨性。
- ・穂ばらみ期から穂ぞろい期の散布で、穂をいもち病から守ります。



発病前だ、
後だと
悩まない。



■ビーム剤の適用病害虫名と使用方法

*他に各種混合剤があります。

薬剤名(農林水産省登録番号)	作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用量(散布流量)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法		
STビーム粉剤DL (第21736号)	稲	いもち病	――	3～4kg	収穫 7日前まで	3回以内	散布		
		穂枯れ (ごま葉枯病菌)		4kg					
STビームゾル (第21691号)		いもち病	1,000倍	――			緑化始期	1回	空中散布
			300倍	25ℓ ※					空中散布、無人ヘリコプターによる散布
			原液	80～150mℓ					
			20～30倍	3ℓ					
	6～8倍		800mℓ						
STビームエイトゾル (第21817号)	稲	いもち病	150～ 500倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	収穫 7日前まで	3回以内	灌注		
			1,000倍	60～150ℓ			散布		
			原液	150～200mℓ			空中散布		
			15～20倍	3ℓ			無人ヘリコプターによる散布		
			4～5倍	800mℓ			散布		
ビームバリダゾル (第16443号)		いもち病 紋枯病	250倍	25ℓ ※	収穫 14日前まで	3回以内	空中散布		
			3倍	300mℓ			空中散布、無人ヘリコプターによる散布		
			8倍	800mℓ			空中散布		
STビームエイトトレボンゾル (第21745号)		いもち病 ウツカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	30倍	3ℓ	――		散布		
			1,000倍	――			空中散布		
			原液	150mℓ			無人ヘリコプターによる散布		
			5倍	800mℓ			空中散布		
			20倍	3ℓ			散布		
			120～180倍	25ℓ ※					
650倍	100～150ℓ								

※10アール当り25ℓ散布する場合(ゾル)は、乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。

- 効果・薬害等の注意<抜粋>**
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
 - 使用前に容器を振って均一な状態に戻してから所定量を取出してください(ゾル)。希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。(長時間の貯蔵では分離)
 - 散布薬液の飛散によって動植物、特に野菜類の幼苗、なし(二十世紀、幸水、新水等)等の農作物の危被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ビームバリダゾルは、さく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
 - 水田の水稲にビームゾルを希釈倍数300倍、ビームエイトゾルを希釈倍数250倍、ビームエイトレボソルを希釈倍数120~180倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
 - 空中散布及び無人ヘリコプターによる散布時は、散布機種の散布基準に従い、以下の点に注意してください。
 - ・微量散布及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - ・散布液が漏れないように機体の配管、散布装置を十分点検してください。
 - ・水源、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
 - ・作業終了後、機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗剤廃液は安全な場所に処理してください。空容器は放置せず安全な場所に廃棄してください。
 - ビームゾルを育苗箱内のいもち病防除に灌注処理する場合、以下の点に注意してください。
 - ・所定濃度の希釈液を育苗箱の上から均一に灌注してください。
 - ・軟弱徒長苗など苗の育成が不調な場合には使用を避けてください(薬害)。
 - ・育苗期間中、極端な温度(30℃以上)が続くと予想される場合は使用を避けてください(薬害)。
 - ・安全性の確認されている培土を使用してください(薬害)。
- 安全使用上の注意**
- ビームゾル、ビームバリダゾルは医薬用外劇物ですので、取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けさせてください。
 - 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください(刺激性)。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。